

超硬質紙管

原材料から研究を重ね、新加工技術を駆使した紙管

【改訂 07】



●フィルム業界の背景

現在、フィルムメーカーにおいては、紙管の扁平耐圧強度不足、バンディング強度不足などによりフィルムにシワが発生し、最後まで使用出来ないため、余尺を巻いて対応しています。

また、直近においてフィルム製品の巻 m を増やしたいという要望などもあり、高強度の紙管の要望が増加しています。

当社では、高強度化を図るため、[原材料や生産設備、並びに新加工技術を研究し、寸法安定性に優れた超硬質紙管の開発](#)に成功しました。

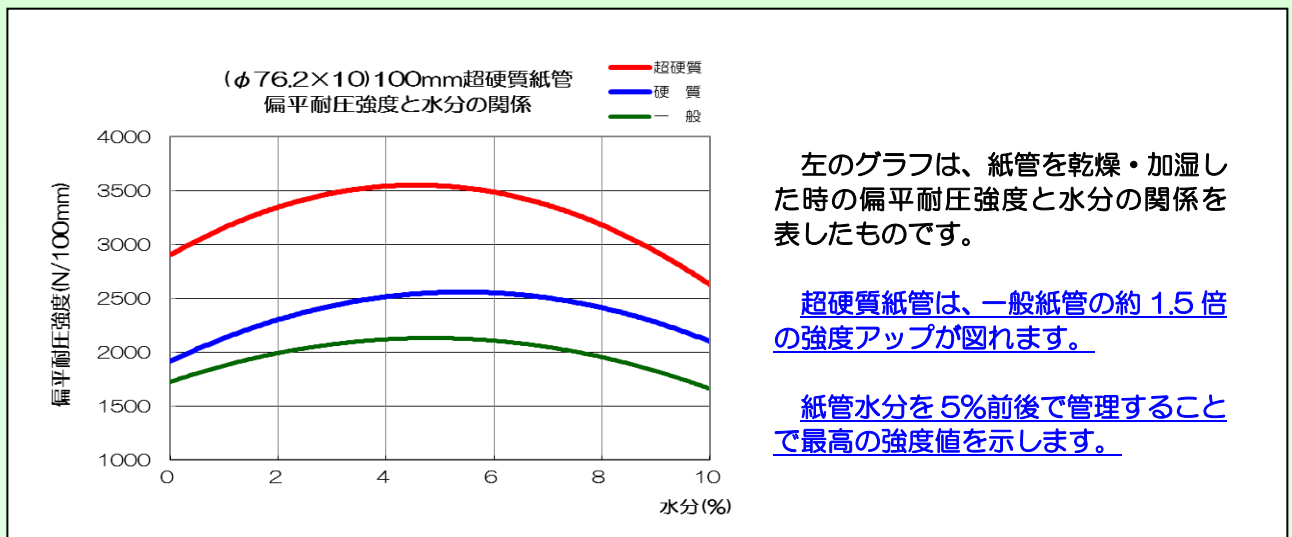
製品名称	内径	肉厚(mm)	長さ(mm)	特殊仕様
新製品 超硬質紙管 (HCタイプ/一般紙管タイプ)	3インチ	5~15	Min. 150 Max. 2500	1.紙管強度設計可能 2.内面防塵仕様可能 3.端面防塵処理可能
	6インチ			

●商品の特長

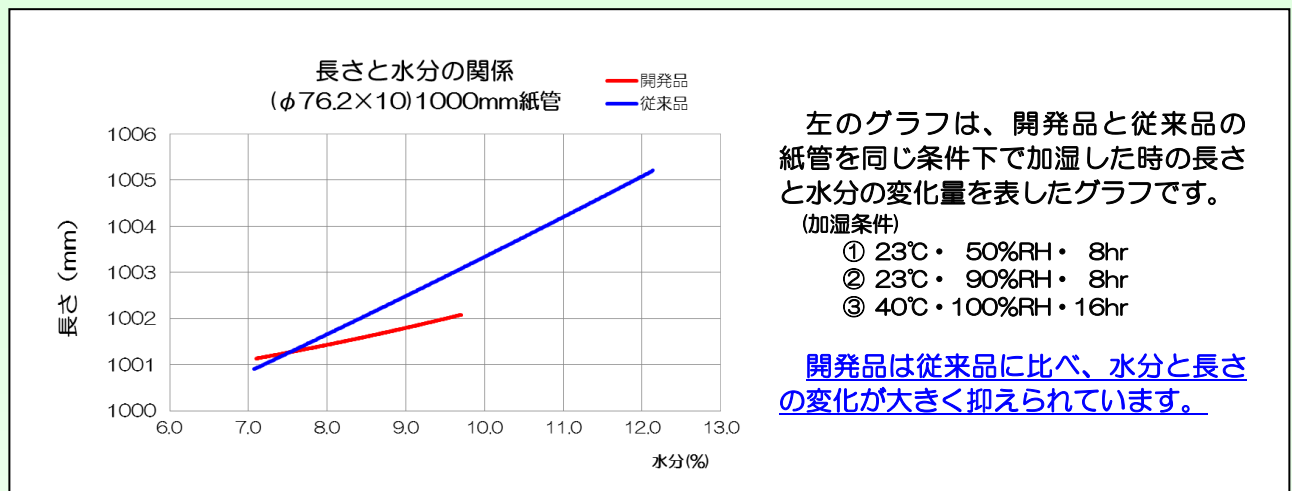
●超硬質紙管の特長

- ① フィルム製品のシワの解消
偏平耐圧強度を向上させることにより、『紙管のたわみ・振れなど』を抑制することで、フィルム巻取り時のシワを防ぎ、余尺の軽減に繋がる。その結果、歩留りが向上、更に顧客満足度を高めることに繋がります。
- ② 巻メートル（巻量）の増加に対する対応
同じ規格で現状の巻メートル量から 1.5 倍の巻量に対応でき、作業効率が向上します。
- ③ 紙管肉厚の薄肉化による『コストダウン』と『環境配慮』
一般・硬質タイプの紙管を使用しているお客様に対し、超硬質紙管を提案し肉厚を下げることで、コストダウンに繋がります。更に薄肉化により原紙使用量が減り、環境に配慮した紙管であります。
- ④ 防塵機能が発揮
内面防塵紙を使用し、端面を防塵加工することで防塵機能が発揮できます。
- ⑤ 寸法安定に優れている
特殊原紙を使用しており、吸湿性が極めて低く水分の変化量が小さく、寸法安定に優れています。

●偏平耐圧強度と水分の関係



●長さ水分の経時変化



[2016.08.19]

日本紙管工業株式会社

TEL:06-6952-0674 FAX:06-6955-2140